



ハワイ便り

ローカル発・シニアのための最新情報

スポーツも人生も後半戦がおもしろい・ハワイで過ごすアクティブライフ！

発行：ハワイシニアライフ協会(HISLEA)

Hawaii Senior Life Enrichment Association(HISLEA)

info@hawaiiseniorlife.org Tel: (808) 428-5808 Fax: (808) 396-1140 P.O. Box 25355, Honolulu, HI 96825-0355

2011 年 10 月号 (Vol.48)

2011 年会員年次総会

すでにご案内のとおり、2011 年会員年次総会が 10 月 14 日（金）午後 4 時半よりアラモアナホテルで開催されます。

総会終了後午後 6 時から三木信幸クアキニ・メディカル・センター副院長による特別講演（演題：「豆腐を食べるとアルツハイマーにかかりやすい？」―日系移民 110 年の歴史とクアキニ病院―）、また、7 時からの懇親ディナーパーティでは、ヒスレア・ハワイアンバンドによる生演奏、Halau Kaulakani 所属の Tomoko Aoki Moku さんのフラ、ナ・ホクハノハノ・アワードにノミネートされた Jody Kamisato(Heart & Soul)さんによるウクレレ演奏に加えて、ヒルトンホテルや一流ホテルの宿泊券やディナー券が当たる福引など盛りだくさんのお楽しみが用意されています。

会員以外のゲストの参加も歓迎ですのでお誘いあわせの上たくさんの方にお越しいただき、楽しい一夕をお過ごしいただきたいと思います。

会費： 会員 \$50 ゲスト \$70 (カマアイナ \$50)

申し込み： インフォメーションセンター ☎ (808) 428-5808

高知県立坂本龍馬記念館開館 20 周年記念フォーラム

“龍馬の志”戦争なき平和世界実現を目指して

本当の自由・平等とは？原点は「命」

高知県立坂本龍馬記念館開館 20 周年記念フォーラムがホノルルで開催されます。

加茂日本国総領事の挨拶の後、上記のテーマでパネルディスカッションを行います。

パネリスト

坂本登(郷土坂本家 9 代・東京)・高山みなこ(勝家子孫・鎌倉)・北代淳二(中浜家後見人、ジョン万次郎研究家・東京)
・大石すみれ(高校生・高知)・宜保然樹(高校生・高知)・前田由紀枝(坂本龍馬記念館学芸員)

パネルディスカッションは、日本語で行われますが、英語のスーパーがでます。

パネルディスカッションの後、ハワイシニアライフ協会の歌を作詞・作曲していただいた世界的なシンセサイザー奏者・西村直記さんによる新曲「大空のかなたにーOver the Sky」の発表演奏、昨年の NHK 大河ドラマ「龍馬伝」のBGMを担当したいちむじんさんのギター演奏などをお楽しみいただきます。

日時：2011 年 10 月 11 日（火）7:00 p m (6:30pm 会場)

場所：ハワイコンベンションセンター

入場無料ですのでたくさんの方のご来場をお待ちしています。

HISLEA ウィーク盛大に終了 - たくさんの方にご参加いただきました

参加された方の感想をご紹介します。

ハワイ・プランテーション・ビレッジで考えたこと

楠 啓次郎さん(夫婦・家族会員)

以前からハワイの移民について大変興味を持っており日本でNHKの友人から紹介された「ハワイ:山中速人著、岩波新書」は隅々まで読んでいました。

ワイパフに「ワイパフカルチャーガーデンパーク」がありその中に「Hawaii's Plantation Village」がひっそりと佇んでいる。どうやらここは以前のキャンプの跡地らしい。兼重さんと言う日系3世の方が少し早口で語り始めた。まずは移民の年表である。

最も先に移民したのが中国人で1850年になんと 40,000 人も入っている。これでダウンタウン横のチャイナタウンの広大さが理解できた。次にポルトガル人、そして1868年、明治元年に日本人が153名入った。その後プエルトリコ、フィリピン、韓国と続く。日本人が本格的に入ったのは1885年以降で明治政府がハワイ王朝政府と正式に労働契約移民に関する条約を結んでからである。これらの興味深い案内が終わると我々は100年間のタイムスリップに入った。驚いた事に移民キャンプ内に「各国の生活様式」そのままの部屋が時代毎に残されている。その部屋へ入ればその国に行ったような気分になった。

最も印象深かったのは日本人の部屋で畳の替りに御座が敷いてあった。此の畳文化は土足ではなく必ず靴等履物を脱いで上がる。この当時の複合文化の中で唯一靴や履物を脱ぐのは日本人のみであり、ここハワイのキャンプと言う極めて限定的な生活空間でさえも頑なに日本文化を貫いている。ここに日本文化の神髄が見受けられた。これは神道の「浄め思想」であり2000年以上の神代の時代からの伝統であり我々のDNAに染みついたものであると思慮した。

最後に兼重さんからハワイではすべての民族は国を超えて家族の様なものでほんとうに素晴らしい人柄・優しい人がみんなから愛され認められると言う独特の文化がある。小生も未だ日が浅いが全く同感であり不思議なところだと思っている。毎日ハワイの空を見ながら感謝している。



シャングリラ・ツアー

関川菊枝さん(会員)

シャングリラ・ツアー、私としては2回目の探訪でした。35年もハワイに住みながら、チャンスもなく昨年初めて参加し、想像以上の世界を垣間見て感動。また行きたいと思っていたところ、HISLEA ウィークのスペシャルイベントに組み込まれ、早々に申し込みました。デューク家の一人娘ドリスさんが父親の遺した莫大な遺産を12才で相続、22歳で結婚、そして新婚旅行は世界一周へと旅立ち、父親の影響もありイスラムの世界に興味を持ちました。彼女の人生80年のうち60年間に収集した数多くの美術工芸品は想像を絶する程の数でした。旅行中ハワイの自然に惚れ込み、この地に素晴らしい芸術品に囲まれながら生活したい・・・と云う夢も実現化し、建設がスタートしました。彼女自身も持って生まれた芸術的センスを生かしながら邸の建築に携わったと聞きました。女優のように素敵な彼女は豪華な邸宅で、優雅な毎日を過ごしていた事でしょう・・・と



想像しただけで心が豊かになりました。多くの人々に語り継がれ、彼女は天国で微笑んでいるのでしょうか・・・

第3回 HISLEA ウィーク BBQ パーティ

上田広子さん(会員)

私は HISLEA ウィークには第1回から続けての参加です。8月31日、高級コンド40階屋上から見る素晴らしい夕日と夜景を堪能。広島メンバーのフラダンスもありました。山内さま、星月さまにもお世話になりました。そして、何より素敵なのは、プロ



のマット・コバヤシさんのスティールギター、プロにも劣らない佐野さんのエレキギター、関川さんのガットベース、山本さんのウクレレ、4人のバンド演奏には会員のみな様うっとり聞き入り、素敵でムーディなパーティの夜は更けていきました。マコさんを始め、いつものスタッフの方々が懸命に働かれるお姿には、毎回頭が下がります。特に、マコさんなどは HISLEA ウィークの総責任者であられる為、この期間、極わずかな睡眠で頑張っておられ、横で見ていると倒れやしないかと心配いたしました。私も少しでもお役に立てばと、下手ながら「おでん」を作らせて頂きました。おでんを50人分なんて初めて作ったので、果たして皆様のお口に合いましたかどうか心配です。スタッフの皆様、お仲間に入れて頂き本当にありがとうございました。また来年もよろしくお願い致します。マハロ！！



ハワイの休日

兵頭 勉さん(夫婦・家族会員)

最初にハワイに来たのが37年前の新婚旅行。そして今回が20回目のメモリアルハワイ。家内は、1ヶ月の滞在を2回経験しているが、私は仕事の関係で長くて10日の滞在だった。しかし、今回は長期休暇を計画してのハワイ。

早速、ザ・バスの1ヶ月定期を購入し、カイルアの街やドールプランテーション経由ノースシェア(フリフリチキンは噂の通り非常に旨く感激)からタートルベイへ。又、マノアの滝散策では、ワイキキから非常に近い場所に大自然が残っている事に感動しながら歩いたが、道がぬかるんでおり予想以上に険しく、サンダルで来ていた人は帰りの下り道では「裸足」で下山していた。(要注意)その他にも、各地域で開催されている朝市やショッピングセンターにも訪れ、今回のハワイ訪問のテーマであった「のんびりハワイ」が、大変忙しいハワイになっている。

食材の豊富なハワイの中で、今回新発見したのが枝豆。新潟に十数年赴任して枝豆の旨さを熟知している経験から言って、ハワイの枝豆はほんとに美味しい。特に、クイーンカピオラニの朝市で女性が売っている枝豆は、新潟の茶豆に近い味がする。(旬の時期があるのでご注意)又、茹でピーナツこれも非常に気に入っている。止めはゴーヤ(苦い)とマッシュルームを炒めて卵を絡ませる。これも絶品。全て酒の肴のご紹介です。

今回のハワイで一番ラッキーだったのが、NPO シニアライフ協会の HISLEA WEEK の期間とタイミングが合った事。



ワイキキヨットクラブでの美味しい食事と楽しい会話、特に今回は広島から大勢の会員が参加され賑やかなウエルカムランチに参加させて頂きました。又、天国の海ツアーでは初チャレンジの水中カメラでウミガメ撮影に成功。

高級コンドミニアムでのBBQ、マジックアイランドでの気功、See You Again ブレックファーストにも参加させて頂きました。本当に楽しい企画をご提供頂き有難う御座いました。(幹事の皆さん、本当にご苦労さまでした) これからも、日本とハワイの懸け橋として NPO シニアライフ協会が益々発展される事を祈念致しまして、楽しいハワイのご報告を終わらせて頂きます。

プナホ高校日本語会話クラス

江口純子さん(夫婦・家族会員)

素晴らしい企画ありがとうございました。

敬語を使つての日本語会話の授業ということで15人のシニアライフ協会のメンバーがアメリカでも有名校、プナホ高校(オバマ・アメリカ大統領出身校)に招かれました。日本の高校にはないキャンパスの環境の素晴らしさ、そして広さに驚きました。

日本語クラスの生徒は1クラスは14人から22人、2日にわたって6クラス、総勢生徒数115人、シニアの参加者1人に対して3人から4人のグループに分かれての会話、グループ・ローテーションでクラス全員の生徒と会話をしました。お互いに休む間もなく話しっぱなしでした。



お互い最初は緊張してましたがすぐ慣れ、笑い声もまじり、生徒からの質問でどちらのご出身でいらっしゃいますか?とか、なかには、日本人とアメリカ人の違いはなんでございますか?など難しい質問をする生徒もあり、驚きました。きっと質問を考え日本語でしゃべる練習をしてきたのでしょう。そして、アツという間に授業は終わってしまいました。

生徒達は普段は日本語クラスの中で先生の日本語しか聴くことが出来ず、また、こんなに多くの日本語の会話をしたこともなく、また逃げることも、隠れることもできず、見学していた先生が生徒達を見ていて、大変面白かったそうです。なかには次の会話の授業も同じようにして下さいという生徒もいたそうです。そして我々が一番驚いたのはプナホの小中高生あわせて600数十人の生徒達が日本語クラスを受講しているとのこと、全米一、いや世界一だそうです。

我々、ハワイシニアライフ協会の会員もすばらしい体験をさせていただきました。優秀なローカルの若い人達との日本語での交流が出来たことで皆さん大変喜ばれ、これからもこのような機会があれば、喜んで参加させていただきたいです。

セミナー「442 部隊兵からハワイの法曹界へ・柏玄朗の生涯」

鈴木栄一さん(夫婦・家族会員)

ハワイ在住30余年、ハワイの生き辞引きを任じる山谷俊夫さんによる「442 部隊兵からハワイの法曹界へ・柏玄朗の生涯」と題するセミナーに出席しました。ロサンゼルスにいた時から442 部隊の話はよく耳にしておりましたがハワイ出身兵士の話



は初めてで、大変興味深く聞かせてもらいました。

1932年生まれの柏氏は、ハワイ大学在学中に2世部隊に志願して442部隊に編入され、ヨーロッパ戦線でドイツ軍と戦い、“ゴー・フォー・ブローク”で有名なテキサス大隊の救出で武勲を立て、苦戦しながらも敵軍の支配下にあったフランスの町々を開放して戦争終結を迎えたという。柏氏のライフストーリーは、今更ながら聞く者の胸に迫るものがありました。

戦後、除隊してロースクールに進み、民事弁護士として日系企業とのかかわりも深く、44 年間も活躍されたという同氏は今年 88 歳。去る 4 月にフランス政府から第二次大戦中の武勲に対しレジオンヌール勲章と騎士の称号を授与され、ホノルルに寄航中のフランス海軍 PS プレリアル艦上で叙勲式が執り行われたということです。これからもお元気で長生きされるようにと祈るものです。

詩吟同好会

鬼頭春美さん（夫婦・家族会員）

私、初めてモト先生(江口素臣協会理事)の所へ詩吟を習いに行きました。

発声練習を本格的に指導されていたのでビックリしました。同好会の方々と声を合わせて、どこから声が出て来るか解らぬまま恐る恐る声を出していました。前の席の先輩が説を上げるところを手でタクトを振るように一緒に示して下さい。皆様の親切に心がほぐれ、昔ながらの知り合いのような錯覚を起こしながら吟じました。終わったとたん、純子先生が「出来た！出来た！」と大きな声で言って下さりホッとしました。

しかし立って大きな声を出すので手も足もガクガク震えていました。でも次の日から一週間が待ちどろしく、今度はどんな詩吟を指導して下さるのかと、どんどん楽しくなって参りました。

そんなこんなで3回目となる、8月25日モト先生の恩師、大城先生と広島からの小橋先生がお見えになると言うので、心待ちと緊張でお待ちしておりました。

まず大城先生が吟じてくださいました。大変、力強い吟で、琴線にふれる物を感じ、体が震える感動を覚えました。

そのとき私は幼き頃、父が越前琵琶を弾き、詩を吟じてくれたことをはっきりと思い出しておりました。この懐かしさ、感動、習って日も浅いののに詩吟がどんどん好きになっていくのは、日本の古きよき時代、心の故郷を求めたのかもかもしれません。

広島からいらっしゃった小橋先生の吟は女性らしい美しい声で吟じ、心が洗われる思いがいたしました。

お二人方の先生とモト先生の3人の先生方の素晴らしい吟を、日本を離れたハワイの地でお聞きする機会を得たことに感謝し、テープに録音してありますのでこの深い感銘を再びゆっくり日本で味わいたく思っております。

今はもう少しハワイに滞在したい気持ちでいっぱいです。この冬は若干延ばして、計画するつもりです。

有難うございました。



KARAWAHINEのハイキング

奥野保男・弘子さん（夫婦・家族会員）

快晴に恵まれた9月25日、シエラクラブと合同のカラワヒネトレイルのハイキングに参加しました。タンタラスの丘にあるたくさんさんのハイキングコースのひとつです。いつも楽しい引率をして下さるランディさんのあとを、道が狭いため、20余名が行進のように一列になって歩きました。殆ど平坦な道でしたが、木の根やぬかるみを避けながら進みました。「ビューポイントです」の声で眼下を見るとパールハーバー、空港の滑走路、パールシティの絶景が広がっていました。

またしばらく歩くと「今、H1ハイウェイの上にあります」というランディさんの声。みなさん????? 車のためのH1ではありません。ある日ランディさんが同じコースを歩いていると、いのししの集団に出くわしたんだそうです。すごいスピードで丘の上から下へ駆け抜けて行ったそうで、それ以来そこは、「いのししのH1」と彼は呼んでいるそうです。



イエローとホワイトのジンジャーがたくさん花を咲かせ、とてもいいにおりでした。その葉には、ハワイにしか生息しない小さい黒いかたつむりがいました。本当に小さくて、説明がなければ、虫や鳥の糞にしか見えません。そのほか、コーヒーの木(実は、まだ緑でした)シナモンの木(お料理

には使えない種類だそうです)ハワイの象徴のようなコア、オヒアの木などを観察しながら、たくさんのマイナスイオンを吸ってのハイキングでした。ここは、高低差もさほどなく、木陰が多く、時々吹き抜ける風もとても心地よくておすすめのハイキングコースだと思います。今回も楽しいハイキングでした。ありがとうございました。

マウイ支部

第2回カヌー・パドルングの会

岸本みち子さん（夫婦・家族会員）

この10年マウイに来ていてカヌーに乗るのは初めてであるが、海面を静かにすべるように走るカヌーを陸から見るのは好きだった。初体験に期待が高まるが今日はサーフィン日和とその道の通が言うように大きな波が時折浜に打ち寄せ、少々不安な気持ちにもなる。



背丈に合わせたオールをもらい簡単なオリエンテーションのあと皆でカヌーを浜辺より海上に押し出し、一斉に乗船。前後にクラブメンバーの人々が乗り我々初心者を読み手してくれる。掛け声とともにオールを動かすと気持ちよく進んでいく。私の乗ったカヌーは左右6人、あわせて12人も乗れる双胴船である。その大きなカヌーが力強く波を切って進みあつと言う間に浜が離れていく。しばらく走り休憩。ホッと一息つき落ち着いて陸を見ると雲ひとつないハレアカラの雄姿、左手には西マウイの山々、振り返ればモロキニとすばらしい景色が広がっていた。

今回の参加者は9人と多く、2船に分かれた。そのもう一つのカヌーが前方にいて盛んに何かを探している。ウミガメを目撃したらしい。我々も停船して

波間に目を凝らしていると、いたいた！水上の色が茶色っぽく変わったかと思うとおおきなウミガメの甲が見えてきた。よく見るとあちこちに5匹ぐらいが時折頭を出しながら泳いでいるではないか。大きい！ふーむ、浦島太郎が乗っただけのことはあるな、などと感心することしばしであった。

我々のカヌーの前後でリードしてくれたメンバーの何人かは、先週末ハワイ島でひらかれたカヌー競技会ティーンエイジャーの部で金メダルを取った女性たちとのことで、すばらしいオールさばきを見せてくれた。体全体を使い力強くそしてリズムよく水を捉まえて行く。私達も彼女たちに合わせたのしく海上をいくうちにカヌーにもすっかり慣れ、おしゃべりをする余裕も出てきて、あつというまに時は過ぎて帰船の時間となり少々名残惜しかった。途中クラブの人たちが猛烈な練習をしているのを見ながら接岸し、カヌーを皆で陸揚げした。

最後に今日参加した人達全員とクラブの人達で輪になってハワイ伝統のお祈りをしてお開きとなった。その昔遠いタヒチあたりからカヌーに乗ってハワイに移住してきた人々もこのようなお祈りをあげていたとのことで、ハワイにおける長いカヌーの歴史を垣間見た気がした。

気持ちのよい汗をかき、海上からハレアカラを望み、海亀達と遭遇し、ハワイの歴史も垣間見たすばらしいカヌートリップでした。またぜひ機会があれば参加したいと思っています。

初カヌー亀泳ぎ来し秋の海

第13回ゴルフ会 (@カヒリ・ゴルフコース)

9月25日、16人が参加し、第13回ゴルフ会が快晴のカヒリ・ゴルフコースで開催されました。前回で1年間のゴルフ会が終了したことを受け、全員のハンデキャップを見直し、Par-3は全てニアピンの対象とするなど競技方法も一部改定し、新たな1年のスタートを切りました。その結果、下記の通り、平賀秀美さんが念願の初優勝を飾り、昨年2度の優勝に輝いた玉置加奈子さんが2位に入って、昨年に続き「なでしこマウイ」の活躍が目立つ大会となりました。

優勝 Ms. Hidemi Hiraga (82/18/64) 2位 Ms. Kanako Tamaki (86/17/69) 3位 Mr. Kenny Kanzaki (77/7/70)
4位 Mr. Hiroshi Joke (91/20/71) 5位 Mr. Konosuke Akao (78/5/73)

ニアピン賞: Mr. Hiroshi Joke (#6)、Mr. Konosuke Akao (#8) Mr. Kenny Kanzaki (#13) Ms. Hidemi Hiraga (#16)

マウイ・ホトギス会 (@カヒリ・レストラン)

9月24日、10名(内、HISLEA 会員3名)の出席者と5名の投稿者(内、HISLEA 会員4名)にて月例会会が開催されました。9月の兼題は「彼岸花」と「梨」でした。特選句に選ばれた HISLEA 会員の句を下記ご紹介します。

秋草を押し花にして句集閉ず	(サニー)	ようじさすそばから梨の甘い水	(ゆき)
秋の海落ちる入り日の雲赤し	(ふき)	カラス鳴く地蔵に一輪彼岸花	(広輝)
撒かれたる遺灰抱けり秋の潮	(省三)		

チゴン(気功)の会 (@キヘイ海岸)

Sherry Remez さんの指導の下、毎週木曜日の朝8時から約1時間、キヘイ海岸で開催しています。週日の朝ではありますが、都合のつく方は一度試してみてもは如何でしょうか。朝のキヘイ海岸で、眼前に広がるマウイの美しい海と西マウイの山々の息吹を身体全体に吸い込んで、自然と一体になったチゴンは心身共にリフレッシュする様ですよ。

9月末マウイ支部会員数: 34名 (1名増)

日本地区

坂井会長 石毛常務理事を囲む昼食会

馬場弘人さん(日本地区本部長)

9月10日(土)に福岡支部、他でのイベントを終えた坂井会長、石毛常務理事を囲んでの昼食会を会員の武居さんがメンバーの伝統ある重厚な建物で長い歴史と実績のある銀座「交詢ビル」で開催しました。日本地区の理事、世話役を中心に22名の方が参加、坂井会長、石毛さんと2時間以上の間、今後の協会運営、発展、維持の為に忌憚の無い数々の活発な意見を交換いたしました。

今回は10月14日のハワイでの会員年次総会、11月2日、「第6回アロハ会」(東京)での再会を約束して、解散。

坂井会長も大満足で！同日夜の便で、改訂版、協会の大量のパンフレットの運び屋？として羽田空港からハワイへ、石毛さんも13日の便で帰国されます。

今日はアメリカは9月11日、ニューヨークでテロが起きて、数千人の方が亡くなられて、ちょうど10年目。愚生、当時、ホノルルに勤務しておりましたので、今回の東日本大震災同様大きな衝撃、大ショックを受けたのを鮮明に覚えております。改めて、ご冥福をお祈りいたします。

ハワイアナ

モク オ ケアヴェ

浅沼正和さん(ビショップ博物館ボランティアガイド)

「モク オ ケアヴェ」はハワイ島を象徴する別名です。十八世紀にこの島を治めていた王の名から、こう呼ぶようになりました。その王の名は「ケアヴェ イ ケ カヒ アリイ オ カ モク」。カメハメハ大王の曾祖父にあたります。カイルアコナの南に在るプウホヌア オ ホーナウナウ国立歴史公園のヘイアウ(祭祀場)はこの王の時代のもので、ホーナウナウで生まれた王のお骨も、ここに納められていると伝えられています。ハワイ王国を創り上げたカメハメハ大王は、ハワイ島北部のコハラの生まれです。1778年11月にクック船長一行が北極海からマウイ島ハナの沖に戻った時、カメハメハがレゾリューション号に一晩滞在したとの記録が残っています。この時、大王は二十歳だったと推定されます。1795年に、カメハメハはハワイ島からマウイとオアフを攻め、各島を手中に収めますが、その準備を進めていた場所が、ハワイ島北西部のカワイハエに今も残る「プウ コホラー」ヘイアウです。



会員便り / 伝言板

個人情報保護法に基づき、ご本人様の了解なく電話番号、住所、Eメールアドレス等を他の方に開示することはしていません。

ハワイ滞在スケジュールを他の会員の方にお知らせしたい方も、この伝言板をご利用ください。

* * * * *

◆今年も「ハワイ国際映画祭」(10月14日～24日)が開催されます。

布川捷二さん(理事)

日本映画も多数出展しています・詳細は <http://hiff.org/> をご覧ください。

私のお勧めは、「わが母の記」2012年公開予定、2011年モントリオール世界映画祭 審査員特別グランプリ受賞作品、
・「最後の忠臣蔵」「白夜行」「ゲゲゲの女房」「エクレール・・・」「Tsuyako」・アニメ大作「手塚治虫・・・」「鋼の錬金師・・・」
「鬼神伝」・変わったところでは、「乾いた花」「Jiro Dreams of Sushi」などです。

シリーズ - 健康

Dr. 大山の健康アドバイス 「ロタウイルス感染症」を考える

秋から冬にかけて、忘れてはならないものが、ロタウイルス感染症(ロタ)です。インフルエンザは10月ごろから翌春まで、流行します。ロタは少し遅れて11月から年末にかけて流行し、年が明ける頃からノロウイルス感染症(ノロ)が猛威を振るい始めます。

ロタもノロも似たような名前ですが、今回はロタについて考えましょう。生後5月くらいから5歳くらいまでの乳幼児の誰もがかかる病気であり、数日の経過で軽快します。発症は集団的であり、特に乳幼児では保育園・幼稚園などの集団生活の場で罹ることが多く見られ、抵抗力の弱くなった高齢者が老人ホームや福祉施設などで感染します。

症状の特徴は、感染後2日間の潜伏期を経て、頻回(5～6回/日)の嘔吐、白色の米の研ぎ汁のような下痢便(4～7日

間)を呈し、一見コレラと間違えるくらいです。そして発熱が見られますが、ノロよりも、発熱することが多く、通常1〜2日間で下熱します。激しい嘔吐と頻回な下痢のため、患者さんは脱水症を起こしやすくなります。

では、どこから感染するのでしょうか。ロタは非常に感染力が強く、僅かなウイルス数でも、感染します。下痢などの糞便中のウイルスが、乾燥し、空気中に浮遊したものが経口的に入る場合、糞便、オムツなどに触れた手から、ドアノブや手すりを介し或いは直接的に感染を起こす場合があります。

ロタを制御する薬剤はありません。症状経過にあわせ、対症治療を行います。家庭では、下痢をしていても、水分および電解質の補給に努めてください。スポーツドリンクなども良いでしょう。下痢症状が続くと、これを止めたくになりますが、下痢止め薬は原則投与しません。腸管内で増殖しているウイルスを排泄してしまう狙いがあります。

ロタのような 短い潜伏期の感染症では、罹っても免疫が形成されにくく、感染を繰り返すことがあります。年長児や大人では罹っても症状の出ない場合があります。(不顕性感染)

感染の拡大を防ぐためには、患者さんの吐物や汚物の始末には、ディスポーザブル手袋を使用し、直接的感染を防ぎ、ビニール袋などに始末し、ウイルスの飛散を防止することが大切です。その他、衣類、おもちゃ、タオルなどの熱湯消毒や薬剤消毒を行い、共用を避けることです。(会員・顧問/東京都済生会渋谷診療所所長)

◇ ◇ ◇

日本語クリニック「ワイキキ緊急医療クリニック」

堀育史院長

会員証を提示すると、初回無料相談、血圧測定、滞在中のアドバイス、専門医の紹介等を受けられます。

Bank of Hawaii Bldg. 3階 ☎ (808)924-3399

名医による無料健康相談(Eメールによる)

大山廉平ドクター(会員・顧問/東京都済生会渋谷診療所所長)

ご希望の方は、①姓名、②会員番号、③返信用Eメールアドレス、④病歴、⑤相談内容を下記メールアドレス宛お送りください。ご本人のみならず、ご家族お知り合いの方、病気と断定できないことでも健康のことでしたらなんでもご相談ください。**東日本大震災に関連する健康ご相談も、どんなことでもご連絡ください。** oyama@saichu.jp

◇ ◇ ◇

ご寄付をいただきました。会の活動資金として活用させていただきます。

(\$ 500) 深田まさ子様、三田英郎様 (\$ 100) 大徳宏教・よう子様、片山邦夫・恭子様、大瀧祐一・光子様、松村公市様、宗像浩美様、兵頭勉・智子様、島崎要子様、インケアハワイ様、伊保節子様、野田治江様 (\$ 50) 楠本育子様、山藤義憲様、田中美恵子様、巖岩奈々様、小林孝之様、田口俊明様、上村和子様、Kiyoko Sigurdsson 様、関川菊枝様、澤田芳子様 (\$ 30) 織田律子様、杉野莊平様 (\$ 25) Hada 様 (\$ 20) 武井雄二・玲子様、古家光政・英子様、細見美也様、小林京子様、植田育典・恵子様、横山景樹・喜美様、ペリー恵美子様 (\$ 15) 浅井美由貴様 (\$ 10) 伊藤和子様、長山勉・恭子様、小泉完様 (2011年7月21日〜9月20日)

ありがとうございました。

ハワイシニアライフ協会とH. I. S. が共催した「レアレア5Kチャリティラン&クリーンアップ」イベントの収益金\$5,747.78 が寄付金として事務局を担当したH. I. S. 様よりハワイシニアライフ協会あてに送られてまいりましたので、協会は同金額を RAINBOW FOR JAPAN KIDS(東日本大震災被災地の子供たちをハワイに招くプロジェクト)に寄付させていただきました。

Mahalo

(編集担当: インフォメーションコミッティ/石毛克祐)

インフォメーションセンター

場 所: ワイキキビジネスプラザ 11F #1108A (2270 Kalakaua Ave)

電 話: (808)428-5808

電話応対: 毎日 午前9時〜午後5時(日本時間: 午後2時〜午後10時)

イベント申し込み等ご利用ください・事故、病気等緊急の際は24時間電話相談受付(5時以降は緊急相談のみ)

ヒスレア・オアシス お待ち合わせ、懇談にご利用ください。(1回のご利用は、1時間程度でお願いします。)

場 所: c/o Plumeria Lounge ワイキキショッピングプラザ 地下1階「るるぶ」デスク奥 2250 Kalakaua Ave. B1F #LL-111,

利用時間: 毎日午前9時〜午後5時

*朝日新聞、ハワイ報知の閲覧、インターネットの利用が無料でご利用いただけます。

当協会の概要、入会案内: www.hawaiiseniorlife.org をご覧になるか、パンフレットをご請求ください。